

## 技術提案書評価要領

### (1) 技術者評価基準

評価の着目点			評 価		
			A	B	C
資格要件	技術者資格	技術者資格、その専門分野の内容※	技術士資格（建設部門：都市計画及び地方計画）を有する	R C C M (都市計画及び地方計画又は造園)を有する	左に該当しない
専門技術力	業務執行技術力	平成21年4月以降に完了した同種又は類似業務の実績の内容※	同種業務の実績がある	類似業務の実績がある	同種又は類似業務の実績がない
		都市計画部門又は造園部門従事期間※	当該技術分野の従事期間が10年以上	当該技術分野の従事期間が5年以上10年未満	当該技術分野の従事期間が5年未満もしくは従事期間がない
		過去10年間の技術者表彰、業務表彰経験の有無	優秀技術者表彰又は優良業務表彰の経験が2件以上ある	優秀技術者表彰又は優良業務表彰の経験が1件ある	優秀技術者表彰又は優良業務表彰の経験がない
専任性	専任性	手持業務の契約金額及び件数（契約金額が300万円以上の業務を対象）	手持ち業務がない	左右に該当しない	全ての手持業務の契約金額合計が3億円以上又は手持業務の件数が5件以上
実施体制	実施体制	担当技術者の配置予定人数	担当技術者を複数名配置している	担当技術者を1名配置している	-
ヒアリング	専門技術力の確認	専門技術力の確認	実績として挙げた業務の担当分野に、中心的・主体的に参画したことが確認できる	-	実績として挙げた業務の担当分野に、中心的・主体的に参画したことが確認できない
	コミュニケーション力	質問に対する応答性	質問に対する応答が明快かつ迅速	左右に該当しない	質問に対する応答が難解であり、緩慢
	取組姿勢	業務への取組意欲	業務への取組意欲が旺盛かつ適切な質問、意欲表明あり	左右に該当しない	業務への取組意欲がない

○担当技術者が複数名配置される場合は、評価の合計が最も高い担当技術者の評価を採用する。

○ ※印は照査技術者の評価対象項目

(2) 提案内容評価基準

評価項目	評価の着目点	評 価		
		A	B	C
実施方針・ 実施フロー・ 工程表・ その他	業務の理解度	目的、条件、内容が簡潔に表現されている	左右に該当しない	目的、条件、内容が簡潔さに欠ける
	業務実施手順 (フロー・ 工程表)	業務実施手順が妥当	左右に該当しない	業務実施手順に矛盾がある
		業務量の把握が適切	左右に該当しない	業務量の把握が不適切
特定テーマ に対する 技術提案	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件に整合する	左右に該当しない	与条件との整合が十分でない
		必要なキーワードが網羅されている	左右に該当しない	必要なキーワードが全く示されていない
		事業の重要度を考慮した提案となっている	左右に該当しない	事業の重要度に対して提案内容が不釣り合い
		事業の難易度に相応しい内容になっている	左右に該当しない	事業の難易度に対して提案内容が不釣り合い
	実現性	提案内容に説得力がある	左右に該当しない	提案内容が荒唐無稽である
		提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている。	左右に該当しない	提案内容の裏付けが明らかでない
参考見積		—	提案内容に相応しい見積りとなっている	提示した業務規模と大きくかけ離れているか、又は、提案内容に対して見積りが不適切